

議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ④

令和6年11月19日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

広聴特別委員会

委員長 森山 喜久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和6年11月19日（火） 19:00～20:30
- 2 開催場所 Aスクエア
- 3 参加人数 11人 小野田商工会議所青年部
- 4 担当議員名 伊場 勇、大井 淳一郎、岡山 明、奥 良秀、笹木 慶之、
中島 好人、藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、宮本 政志、
森山 喜久、矢田 松夫、吉永 美子
- 5 報告会次第
 - (1) 高松議長挨拶
 - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 奥 良秀
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - (3) 全体的な意見交換会

6 各テーブルの意見

《総務文教常任委員会関係》

*令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置

- ・(質問) 今回挙がった項目、議会としてどういう理由で選定したのか。
- ・(回答) 9月定例会で審査された内容から、市民の方が関心が高いものを委員会で協議して決めた。他に条例の改正等々もあったが、この二つが特に気になる点であり、市民生活に直結すると思った。
- ・(質問) 地域運営組織について。これは自分の所でも当然あると思ってるが、まず誰に声がかかっているのか、そこからどうやっておりてきているのか、などを聞かせて欲しい。
- ・(回答) 今の検討会は令和5年度からやっており、核となるのは自治会運営協議会、ふるさとづくり協議会、地区社協にいらっしゃる方と各地域交流センターのセンター長が主に話し合っており、この人を入れようとかの話し合いが根本的なスタート。
- ・(質問) 支援員個人の力量の問題、教育はどうか。
- ・(回答) 毎月1回は地域づくり支援員が集まり、各地区の情報交換をしたり、アドバイザーの講義を受けている。それぞれ年配から1番若くて50代、それがまた地元に戻って発信する。もちろん差が出てきており、そこが課題である。アドバイザーの勉強を受けようが、みんなが集まって会議しようが、少し力不足じゃないのか、と地元で感じておられる人がいることを委員会で取上げていきたい。

*災害応急工事事業を増額補正

- ・(質問) 増額補正だが、常に1年前を見るのか、複数年の実績をみるのか。
- ・(回答) 今回は8月～10月の台風や長雨での災害実績、過去5年間を見て1番大きい金額で補正した。
- ・(質問) 510万円だが、もし甚大な台風とか被害が出た時は少ないような気がするがどうか。
- ・(回答) あくまで災害応急の金額であり、いま言われたような大きな災害が来た場合は、本災の国庫補助事業として別に予算を組み立てることになる。

*その他

- ・(意見) 青年部は子育て世代でもあるが、今回子育て政策に関する項目が上がっていない。私も幼稚園の経営をしているからこそ思うところもあるが、幼児教育、保育で実際に一般質問される市議がない。議会の一般質問を見て、それだけ議員の皆さんは、子供のことに関して話がないのかなと思う。これだけ人口減と言われて、少子高齢化と言われてる中で、市としてその対策をどう考えていくかというアイデアがそもそもないのかという疑問を常々やっぱ感じる。一般質問が出ないのは、そもそもそう考えてないことでもあるのではないかと正直感じている。実際、市の政策も幼稚園・保育園体制の予算を増やそうという話も出なければ、

実際に全く増えてない。無償化になって、予算的上は予算要求の中では上がったように見えてますが、その財源は消費税で、市から出てない。国からの予算をそのまま市内の幼稚園、保育所に渡してる、仲介事務処理をしている。その事務処理は大変だが、予算的にそうになっている。

山陽小野田市に住んでる子供たちをどう育てて、どういう大人になって欲しいかというビジョンを、市としてはやっぱ示して欲しい。この夏の猛暑で、外で子供たちは遊べてない。天気よくても、熱中症のアラートが出たら怖くて、外で思い切り遊ばせることができない。何かあったときにその命に変えることはできないので、室内でエアコンのきいた中で過ごしてもらおう。そこに対して市が、子供たちが安心して遊べる環境をつくる、それに対して施設が何か手当てして考えてくれと予算をつけた自治体が他にある。実は県内でもある。そういう思いに至ってないのがこの山陽小野田市の現実。ちょっと視点を子供たちに向けて欲しい。リフォームもちろん大事、商店街も大事、経済も大事ですが、人がいなくなったらそもそもこの町は終わっていく。我々の運営、関係する者からのお願いであり、そこに真剣に向き合っていただきたい。(民生福祉常任委員会と重複)

- ・(意見) 市のデジタル化が全然進んでない。DX協創プラットフォームという会議体を市はつくられているが、私も会議所の代表として2回出て、色々提案はしてるのだが、何も進んでいない。結構、花火は挙げられるが実情が伴ってないのがずっと続いている。費用対効果が低いと思う。そこは改善をしていくべきと思う。

議会でタブレットを使われてるが、議員控室にはWi-Fiは届いていない。そもそもインフラをまず整えないことにはIT化にもならないし、デジタル化につながらない。そこを設計できる人が市役所の中にいない。それをコンサルに頼んでるなら、そういうシステム設計もやるべきだと思うが進んでない。窓口にしても手書きで、手書きしたやつを奥で職員が打ち込んで、それを今度はプリントアウトして確認して、それを交付する。これすごい無駄だと思う。そういう余計なことをIT化して、デジタル化していかないと今の人数では絶対に業務は終わらない。お客さんも時間をわざわざ作って窓口に行っていることもあるし、窓口の職員も色々な業務のある中で一人ひとり対応していくのは時間をすごく取られると思う。

お金を払う部分、自動精算とか進んではいるが、そもそも手続きの段階で考えていかないと、遅れ過ぎではないかと思う。

生成AIでコンサル入れて、膨大なお金がかかっているが、そこを一度精査して頂きたい、費用対効果の面も含めて。

《民生福祉常任委員会関係》

* 市民病院の決算について

- ・(質問) 今回挙がった項目、議会としてどういう理由で選定したのか。
- ・(回答) 市民に直結をしている事業ということが1番大きい。市民に関連するものとして市民病院になった。
- ・(質問) 何が問題で赤字なのか。設備がとか言われたが、動画では分からない。本当の原因は何か分からない。
- ・(回答) 令和5年度は赤字だが、令和4年度、令和3年度は黒字。収益も増やさないといけないけれど、費用がかかれば、当然赤字になっている。
 診療報酬との兼合いもあるが、外来患者を増やすと言っていたが、減ったという実態がある。外来患者がどの様に減ったのか、委員会では分析していない。
 医師が増えないこともある。常勤医師30人をめざしているが、現実には25人。市民病院のトップが山口大学に行って医師の増員をお願いしてもなかなか増えない。医師の報酬がそんなに高くないのではないか、との指摘もある。
- ・(質問) 時間は何時からなのか。11時までだと使いにくいのだが、どうか。
- ・(回答) 平日8時半から11時までが受付です。委員会審査の際、この点もしっかりと質疑につなげていきたい。
- ・(質問) 赤字なのか。
- ・(回答) 短期も赤字で、累積でも29億以上の赤字となっている。要因は色々ある。例えば人件費、材料費の値上げ、この度一番痛かったのは新型コロナウイルスの確保病床で補助があったが、それが一気に減ったのが赤字を大きくした原因の一つ。
- ・(質問) 民間は別で、公立病院で例えば山陽小野田市と同じ規模で、黒字の病院はないのか。
- ・(回答) 探してるがない。
- ・(質問) 稼働率が85%できつという事は、基本的に人手不足なのか。
- ・(回答) 85%の件、人が沢山いて回せるとしても、今度は人件費が上がる。診療報酬は国で決まっているので稼働率85%を、90%や100%にしたら実際黒字になるのかどうかという回答は頂いてない。

***その他**

- ・(意見) 青年部は子育て世代でもあるが、今回子育て政策に関する項目が上がってない。
 私も幼稚園の経営をしているからこそ思うところもあるが、幼児教育、保育で実際に一般質問される市議がない。議会の一般質問を見て、それだけ議員の皆さんは、子供のことに話がないのかなと思う。これだけ人口減と言われて、少子高齢化と言われてる中で、市としてその対策をどう考えていくかというアイデアがそもそもないのかという疑問を常々やっぱ感じる。一般質問が出ないのは、そもそもそう考えてないことでもあるのではないかと正直感じている。
 実際、市の政策も幼稚園・保育園体制の予算を増やそうという話も出なければ、

実際に全く増えてない。無償化になって、予算的上は予算要求の中では上がったように見えてますが、その財源は消費税で、市から出てない。国からの予算をそのまま市内の幼稚園、保育所に渡してる、仲介事務処理をしている。その事務処理は大変だが、予算的にそうになっている。

山陽小野田市に住んでる子供たちをどう育てて、どういう大人になって欲しいかというビジョンを、市としてはやっぱ示して欲しい。この夏の猛暑で、外で子供たちは遊べてない。天気よくても、熱中症のアラートが出たら怖くて、外で思い切り遊ばせることができない。何かあったときにその命に変えることはできないので、室内でエアコンのきいた中で過ごしてもらおう。そこに対して市が、子供たちが安心して遊べる環境をつくる、それに対して施設が何か手当てして考えてくれと予算をつけた自治体が他にある。実は県内でもある。そういう思いに至ってないのがこの山陽小野田市の現実。ちょっと視点を子供たちに向けて欲しい。リフォームもちろん大事、商店街も大事、経済も大事ですが、人がいなくなったらそもそもこの町は終わっていく。我々の運営、関係する者からのお願いであり、そこに真剣に向き合っていただきたい。(総務文教常任委員会と重複)

- ・(意見) 宇部市は保育幼稚園課があり人数がすごく多い。担当する部署、人数もすごく、体制人数もすごい。市長が色々アイデアを出しながら、対策を色々発表されて実施している。山陽小野田市は子育てに関する部署、子育て支援課が窓口である以上は、予算や体制も含めて考えていただきたい。

《産業常任委員会関係》

*商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正

- ・(質問) 今回挙がった項目、議会としてどういう理由で選定したのか。
- ・(回答) まちづくりの花火、小規模土木、住宅リフォームについても、生活に密着しているということで選出をした。
- ・(質問) 商店街とか何かテナントに入られる方に対して、創業支援とかの対象者が少ないようなので、対象を広くしてもらった方が良いと思うがどうか。
- ・(回答) 商業振興諸行事補助金交付要綱、山陽野田市補助金交付規則があるが、対象が狭まっているので、議会としてもっと広げたらどうかという御意見を頂いたので、委員会ですっかり、その辺りは審査していく。
- ・(意見) 商店街等活性化事業で、若者たちが楽しめる場所が必要。子育てに大事なものは全部そろってはいるが、やはり若者たちが遊べる場所がないっていうのはすごく問題じゃないかなと思う。

*住宅リフォーム資金助成事業の予算増額を求める決議

- ・(質問) 増額は、お願いされる予定なのかどうか。

- ・(回答) 増額した方が良いですよ、と議会から担当課に要望を出すことを決めたのが先ほどの報告動画。いくら増額しろとは決めていない。増額も、来年の3月議会には出てくると思う。その時には審査をしっかりとする。
- ・(意見) 一般の人に周知をしてもらいたい。業者側からの提案が結構ある。それだとあまり意味がないのではないか。出来ればお客さんから使いたいんですが、と市内業者を選んでくれる流れにしてもらえれば本来の在り方かな。
- ・(意見) 事後申請があると助かる。申請を出してOKが出るまで1週間くらいかかる。結構時間がかかるが、リフォームする人は早くやりたがる。国のリフォーム制度は事後でもOKなので、システム的に難しいかもしれないが、あると助かる。

その他

- ・(質問) 今回、普通の議会カフェということだが、一般の方向けの議会カフェもこの前されていた。今回は青年部で、限定された対象者で年齢も分かっているのだから、この議案の項目を出されるのは、僕はちょっとおかしいんじゃないかなと思って。一般の市民とはまた違う項目、我々、要は子育て世代であり、仕事中心で経済を中心でやってる立場に合った項目を意見交換あれば出してほしい。市民病院も市民にとって最後の砦であり、ないと困ると思うが、今日ここで話す大事な項目かと言われると、優先順位はちょっと考えていただきたかった。
- ・(回答) 報告内容の件については広聴特別委員会で、対象によって意見交換の内容は精査していく方が良いのではないかと、としっかり議論していきたい。
- ・(質問) 今回のレジュメを見て、例えばここで意見交換とか情報交換する意義が全く見えない議題になってると思う。例えば病院の運営とか、補正予算についてどう思うかって、我々からどのような意見が欲しいのか、意図も読めないし、全くナンセンスな話題だと思う。安芸高田市が今、よくも悪くも話題になった発端って、無印良品の出店を巡り色々な考え方があることを市民に対してPRして、それぞれの意見を求めるようなことをした。少なくともこういう場でもそうだし、何か意見を求めるような会議にしたほうが良いと思う。
- ・(回答) レジュメだが、この度議会カフェになってるが、本来は議会報告会であって、議会のことを話す。例えば議案がこうでしたよという話である。だから、面白い面白くないは別として、まずは分かってもらう。こういうことをやってますよ、と報告している。
 議会の定例会の報告ではなく、何かそちらでテーマを設定して、例えばこう興味を持ってもらうようなテーマを出して、皆さんから意見をお伺いできるような、意見を頂くのに適したような設定することを意見として頂いたので、広聴特別委員会の中で協議をしていきたい。
- ・(意見) 議会だよりの中で、例えば中学生が意見を言ってるが、この意見も結局、議会

を見てもらっても何の意味もなかったことになると思う。山陽小野田から人が出ていってることは分かったが、中学生が言ってることは都会がいいとか、結局出ていってる要因を言うだけで、ここに山陽小野田の魅力が伝わる何か気づきがあったとかを載せるのであれば、すごく有意義な内容になると思うのだが、正直、紙面自体が何を発信したいのかが読んでいても分からない。だから政治も興味がなくなるし、投票にも行かない。少なくとも紙面からは全く意図が分からないと思う。厚狭駅にさくら号が停まればいいとか、美祢線廃止しない、バスを増やすとか利用者がいないものをあれば良いという観点で行う提案とかは浮世離れしていて、現実的なものを載せていくべき。

- (回答) 紙面の件については、広報特別委員会で今頂いた意見も含めて議論をしていきたい。